

# 株主通信 (第84期 第1四半期)

2018年4月1日～2018年6月30日

Passion for the Next Innovation

～次なる革新への熱い思い～



株式会社 電業社機械製作所

証券コード 6365

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。  
このたびの「大阪府北部地震」、「平成30年7月豪雨」により、被災された皆様に心からお見舞い申し上げます。

ここに、第84期第1四半期の株主通信をお届けいたします。

2018年度は3カ年計画で取り組む「New DMW 中期経営計画2019」の2年目にあたります。重点テーマの1つである海水淡水化ビジネスの確立に向けて、エネルギー回収装置の受注に注力してまいります。また、優秀省エネルギー機器として経済産業大臣賞を受賞した多段ブロワ（AM-Turbo）の拡販も図ってまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2018年9月

代表取締役社長

土屋 忠博



## 事業の概況

### ■受注状況

当第1四半期連結累計期間の海外経済は、米国では安定した雇用情勢や堅調な企業の設備投資により拡大基調が継続しており、中国においても景気が安定的に推移したことから、全体として緩やかな景気の拡大が続きました。一方、米国政権による保護主義的な通商政策の影響など、先行きに関しては不透明な状況にあります。日本経済においては、堅調な企業収益を背景とする設備投資の増加や雇用・所得環境の改善などにより、緩やかな景気の拡大が続きました。

このような中で、当第1四半期連結累計期間における当社グループの受注高は、官需、国内民需、海外の各部門が好調であったことから、前年同期に対し127.9%の36億55百万円となりました。

### ■売上高・損益状況

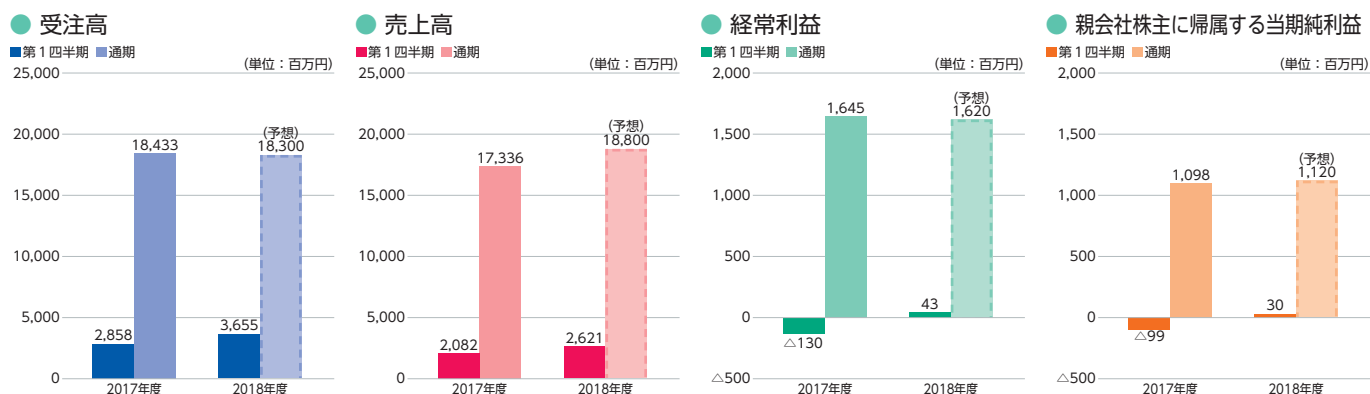
売上高につきましては、国内民需部門が前年同期に比べて大きく増加したことなどから、前年同期に対し125.8%の26億21百万円となりました。また、利益につきましては、利益率の良い大型案件の売上があったことから、営業損失9百万円（前年同期四半期営業損失1億70百万円）、経常利益43百万円（前年同期四半期経常損失1億30百万円）、親会社株主に帰属する四半期純利益30百万円（前年同期親会社株主に帰属する四半期純損失99百万円）となりました。

なお、当社グループの売上高は、公共事業物件の割合が高いため連結会計年度末に集中する傾向があり、四半期別の業績には季節的変動があります。

### ■業績予想

2018年度の連結業績予想につきましては、2018年5月15日に公表いたしました業績予想から変更はありません。

## 連結財務ハイライト





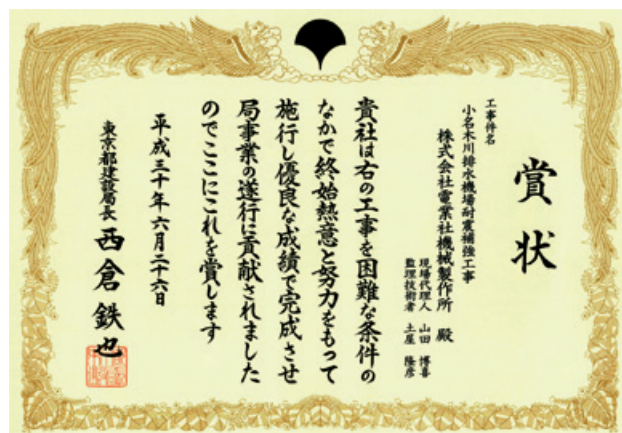
## 東京都建設局長表彰受賞

## ～小名木川排水機場耐震補強工事～

2018年3月に完成した「小名木川排水機場耐震補強工事」が東京都建設局の優良工事に選定され、東京都建設局長から表彰を受けました。

同表彰の対象となる工事は、「特に困難な施行条件を克服して工事等を完遂したもの」、「施行にあたっての熱意・創意工夫等が特に優れ、他の模範となるもの」などの条件を総合的に判断して選定されます。

本工事は、既設部品を流用したポンプ改造に高い技術力を発揮したこと、また関連工事が輻輳する現場での安全管理と工程調整を主体的に行ったことが評価され、受賞に至りました。



## 「くるみん」認定取得

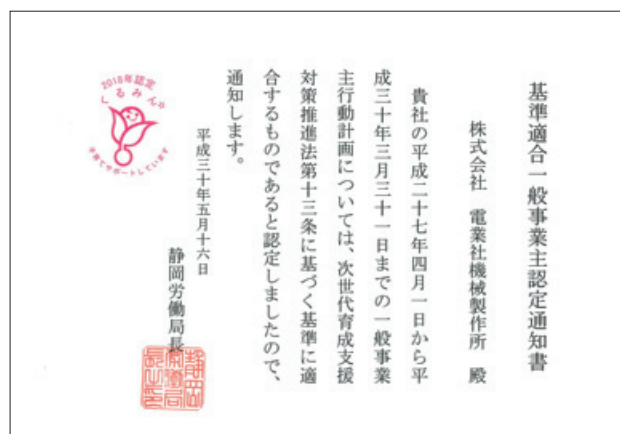
2018年5月、当社は子育て支援に積極的に取り組む企業として「くるみん」認定を受けました。「くるみん」認定とは、社員の仕事と子育ての両立を目的に策定した一般事業主行動計画の目的を達成し、一定の基準を満たした企業が認定を受ける制度です。

当社では、社員の職業生活と家庭生活との両立を支援し、すべての社員が能力を最大に発揮できる多様な労働環境の整備を進めてきました。

今後も社員一人ひとりが生き生きと熱い思いを持って働くことのできる企業であるように、積極的な取り組みを進めてまいります。



● 静岡労働局長（左）より認定通知書を受領



ホームページ  
のご案内

当社ホームページ

<http://www.dmw.co.jp/>

最新のIR情報につきましては、  
当社のホームページ「IR情報」を  
ご参照ください。

「株主・投資家情報」  
検索はこちらから▼

電業社 IR

検索

